

1. 日本再興を確実にするための新首都圏広域地方計画(位置づけ) (第1章)

首都直下地震・地球気候変動災害(大規模水災害等)対策
ポストオリンピック・パラリンピックの日本の大発展(2050年を念頭に2025年目標で)
女性活躍社会・高齢者参画社会の実現
これからの「運命の10年」が日本の命運を決める。 → 「グランドデザイン2050」を実行し、進化させる新首都圏広域地方計画

2. 首都圏の現況と課題・首都圏の構造的な特性 (第2章)

人口減少・少子化

国際競争の環境と日本の地政学的な位置づけの変化

異次元の高齢化の進展

食料、水、エネルギーの制約・環境問題

巨大災害の切迫

劇的な進歩を遂げるICTの積極的な活用

首都圏の構造的な特性

3. 首都圏の目指すべき将来像 (第3章)

世界に貢献する課題解決力、先端分野・文化による創造の場としての発展に加え、豊かな自然環境にも適合した、「上質」、「高効率」、「親切」、「繊細さ」で多様なアジアの国々の道標となり、世界からのあこがれに足る共生・対流首都圏を目指す。

4. 将来像実現のための首都圏の政策の基本的考え方 (第4章)

重大課題への対応

防災・減災を組み入れた成長・発展戦略
国際競争力を維持していくための世界都市機能の強化と国際的なネットワークの充実強化
都市と農山漁村の対流も視野に入れた異次元の超高齢社会への対応

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会もターゲットに置いた、より洗練された首都圏の構築

社会システムの質のさらなる向上
柔軟で高効率な生産システム等による日本再興のための取組
若者・女性・高齢者・障害者などの社会への参加可能性を開花させる環境づくり
田園回帰を視野に入れた農山漁村の活性化
オリンピック・パラリンピックの機会に、洗練された首都圏と東北の復興を世界にアピール

日本の中の首都圏

東京一極集中是正に向けた首都圏の取組の考え方
福島復興及び日本海・太平洋二面活用

首都圏の果たすべき役割

首都中枢機能の継続性の確保
日本経済の牽引
国土軸の円滑な相互連携
人口減少の痛みを和らげる地方との対流・循環の促進
東北の復興、日本海の発展への寄与
自然と共生しつつ、多様な人々が暮らし働く環境づくり

5. 首都圏版「運命の10年」コアプログラム(たたき台) ~ 1 + 5 コアプログラム ~ (第5章)

S. 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会にターゲットをおいた首都圏・日本の躍進 [優先すべき取組事項]

- A. 首都圏からはじめる確固としたデータ蓄積と高度なICTに基づく科学的な国土管理・国土活用
- B. 巨大災害にも対応できるレジリエンス首都圏の構築
- C. 世界最大の経済集積圏としてのスーパーメガリージョンの形成
- D. 首都圏新構造の構築
- E. 共生首都圏の形成と都市農村対流